

## 令和元年度第9回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和元年12月10日（火）午後1時30分～3時30分

■場 所：府中駅北第2庁舎7階 府中市環境保全活動センター

■出 席：（敬称略）

（委 員）（8名）室 英治、塚原 仁、表 伸一郎、山田 義夫、増山 弘子、  
六波羅 昭、小西 信生、黒坂 かおり

（事務局）（1名）塚原二郎

■欠 席：（敬称略）

（委 員）（1名）内山 雄太

■議 事

### 2 報告（進行の都合から報告よりはじめた）

- (1) 第8回検討調整会議事録の確認。一部手直し了承。
- (2) 令和2年度環境まつり実行委員に当センター検討調整会委員から、六波羅委員、黒坂委員、内山委員の3名が選出された。
- (3) 市民協働まつりに当センターはパネル展示で参加した。このほかに、かんきょう塾ネット、府中かんきょう市民の会、ひな草の会が参加した。
- (4) エコクッキングは、参加者が5家族13名あった。新しい給食センター料理実習室は清潔で使いやすく好評で、メニューについていろいろ工夫されたものであった。是非、家でも作ってみたいと話が出ていた。
- (5) 東芝デジタルソリューションズグループ環境フォーラムは200名を超える来場者があり、講師の話も当事者でないと気が付かない話で興味深いものであった。終了後の感想として大変面白く、いろいろと考えさせられる話で、良かった。という声が多く聞かれた。
- (6) かんきょう塾第7回講座はグループの活動発表と修了式であった。活動発表は3グループともよく調査しましたので、発表時間が足りないほどであった。修了式は、受講者19名中、修了証の授与16名、受講証の授与3名と好成績であった。
- (7) 特別公開講座の2講座について、2月のバルトホール開催予定の講演会は大きな会場なので集客するPRの工夫が必要である。また、3月の自然散策は受講者・サポーターに周知を徹底する。

### 3 その他

- ・ 次回開催日程を決める。

※なお、検討調整会のあと、親睦のための新年会を開くこととなった

## 1 議題

環境保全活動センターの今後のあり方等について

⇒ 今回は、事務局で用意した資料の説明を行った。

また、室委員長の資料の説明があり、資料の①～⑦について意見を出してもらった。特に③の予算については、市で実施されている環境に関係している事業情報を一元化することで、市全体の予算を一元管理していくことが可能となり、より効率の良い予算執行を行うことで、各事業の質を高めるようにしたい。これについては、一元化に伴う体制（市）と受け皿（市民等）の整理が伴うので、各団体や庁内に十分な説明が必要である。②の施設については、円滑な活動を維持するためにも、施設が講習会や大学、市民との交流分科会などに対応できるものとしなければならない。

事務局資料をたたき台として、これを充実した形にして検討調整会の意見をまとめ、市長に提出し、検討調整会の考え方と要望を強くアピールしてはどうか。

このためにも当センターのサポーターはどのような現状であるのか知るために、実働している人、名前だけの人などの実態を明らかにし、当センターでどんな事業をどのようにできるのか。必要があればサポーターの増員などの対応もしなければならない。

このような当センターの能力を踏まえ、当センターの一番重要な役割をもっと明確にするべきである。また、検討調整会で検討している内容をもっと前面に出すことで、実績としてまとめたい。当センターの役割を活かせる施設として設置することで、どのようなメリットがあるのか。また、そのためにはどのようなものが必要なのか、これらをA4用紙1枚程度にまとめたい。

今後の進め方として、5月には市長へ提出できるものを作りたいので、3月に仕上げ、4月に修正等を行い、5月に提出するという日程ではどうか。また、この作業と並行して、ステップ1にある2020年度内には社団法人化（⇒分会を作り、進めていかないといけない）をしたい。

このような意見が出され、検討調整会としてもこれで進めていくことで意見がまとまった。

また、次回により具体的な検討を行うために、次のような作業を事前にしておくこととなった。

- ① 事務局資料、塙原委員、六波羅委員の資料に対してコメント1枚を作つてほしい。次の委員会で出し合い話をしたい。

② 予算について、市の内部で環境活動などに係わるものを調べてほしい。市全体ではこれだけ使っているといえる方が良い。(事務局で調べる)

■次回開催予定日

令和元年度第10回府中市環境保全活動センター検討調整会について  
(通算111回)

日 時：令和2年1月28日（火） 午後3時～

場 所：府中市環境保全活動センター